

ヨコハマ 3R 夢プランの推進について

平成 26 年度の「ごみと資源の総量」の状況について

平成 26 年度は、平成 21 年度に比べ 3.5% 以上削減することを目標としています。

平成 26 年度 4 月から 10 月までの「ごみと資源の総量」(速報値)のうち、家庭系の資源化量に含まれる資源集団回収量は、集計に 3 か月程度要するため、9 月、10 月分について推計値を使用しています。

平成 26 年度 4 月から 10 月までの「ごみと資源の総量」(速報値)は、約 73 万 9 千トンで、平成 21 年度の同時期に比べ、約 2 万 7 千トン減少(▲3.5%)しました。

内訳として、家庭系の総量は、約 52 万 8 千トンで、約 3 万 1 千トン減少(▲5.6%)し、事業系の総量は、約 21 万 1 千トンで、約 5 千トン増加(2.2%)しました。

【平成 26 年度 4 月～10 月の「ごみと資源の総量」(速報値)】

【単位：トン】

	ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系		
		ごみ量	資源化量	※1	ごみ量	資源化量※2	
26年度	738,900	527,990	353,230	174,760	210,910	184,940	25,980
21年度差	▲ 26,677 (▲3.5%)	▲ 31,197 (▲5.6%)	▲ 16,824 (▲4.5%)	▲ 14,373 (▲7.6%)	4,520 (2.2%)	▲ 7,711 (▲4.0%)	12,242 (89.1%)
21年度 (基準年度)	765,577	559,187	370,054	189,133	206,390	192,651	13,738

※1 家庭系の資源化量に含まれる資源集団回収量については、9 月、10 月分を推計しています。

※2 事業系の資源化量は、学校給食残さの資源化量と事業者が生ごみやせん定枝を資源化した量の合計です。

※ () 内数値は、21 年度との比を示しています。

※ 26 年度の各数値は、10 トン未満四捨五入しています。

